

環境(CO₂)をキーワードにした製品を事業化しませんか？

坂内 正明

(大学院地域イノベーション学研究科 先端融合工学専攻 教授)

キーワード：炭酸ガス(CO₂)、省エネルギー、排出量取引、外部資金獲得

用途：環境適応の製品化、自社内のCO₂削減、研究・製品化のための外部資金獲得支援

企業への期待：

- 競合他社に価格ではなく、技術で優位性を確立しようと考えている企業の方と協調したい。
- 研究開発の要員不足や、外部資金獲得のための支援をします。
- 新製品の市場性を評価します。

研究シーズ

【研究タイトル】

環境に貢献するエネルギー設備の事業化支援

【従来技術の問題点、課題】

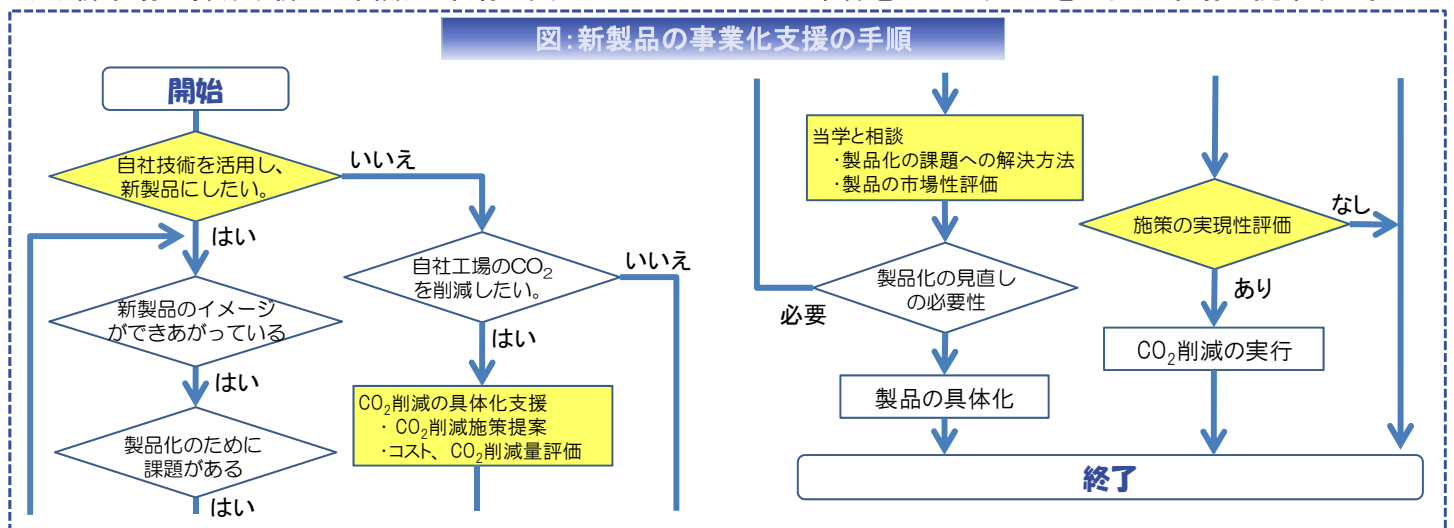
- ・自社技術を製品化したいと考えているが、→→→「技術の優位性の評価が難しい。」
「開発のための人材・費用が十分でない。」
- ・自社の事業所のCO₂を削減したいが、更なる具体策が見つからず悩んでいる。
- ・外部資金を利用したいが、そのための経験が乏しい。

【解決手段】

シーズ保有者は、今まで様々な製造業者に対し、製品製造のために必要なエネルギーを削減する施設を提案し、国からの補助金を活用しつつ国内150ユーザーに採用された経験を有する。これまでの知見を有効に活用し、

- (1)新規事業を推進するときの外部資金獲得支援
- (2)環境に対する新製品の有用性評価(現状設備と新製品との比較評価)
- (3)新市場の探索、新しい製品が市場に受け入れられるための条件を整理し、これを共同で市場に提案する。

図：新製品の事業化支援の手順



- 国からの補助金獲得の豊富な実績を有する。
(エネルギー合理化支援、新エネルギー事業者支援等多くの案件で国から補助金(累計100億円)を獲得。)
- 異なる製造ラインの各現場ごとに最適なCO₂削減施策を実施してきた知見を活用することができる。

連絡先：社会連携研究センター

TEL&FAX ; 059(231)9047

E-mail ; liaison@crc.mie-u.ac.jp